

平成30年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果 課題分析表 (中学校)

教科ごとの「教科の観点」・「読み解く力」における平均正答率の比較

葛西第二中学校

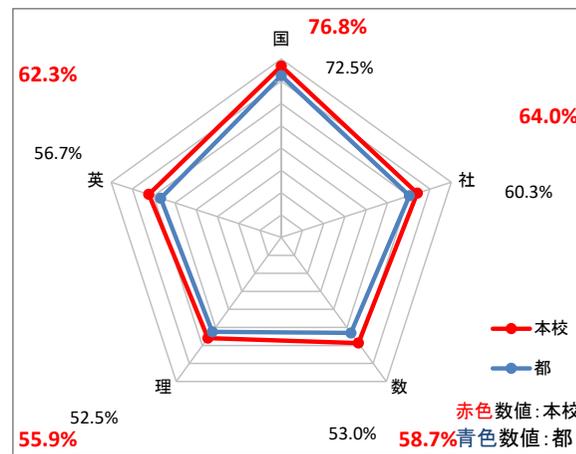
国語	教科の観点					教科平均	読み解く力				全体平均
	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能		必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	読解平均	
東京都	92.5%	68.1%	78.0%	70.5%	70.1%	73.2%	85.8%	64.2%	62.4%	69.2%	72.5%
本校	93.0%	70.0%	86.4%	75.7%	74.2%	77.4%	91.3%	67.4%	69.1%	73.8%	76.8%
都との差	0.5	1.9	8.4	5.2	4.1	4.2	5.5	3.2	6.7	4.6	4.3

社会	教科の観点				教科平均	読み解く力			全体平均	
	関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解		必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力		読解平均
東京都	94.4%	59.9%	57.6%	62.0%	62.9%	62.9%	42.9%	46.8%	50.9%	60.3%
本校	97.7%	61.5%	62.8%	64.1%	66.1%	70.1%	46.6%	52.3%	56.4%	64.0%
都との差	3.3	1.6	5.2	2.1	3.2	7.2	3.7	5.5	5.5	3.7

数学	教科の観点				教科平均	読み解く力			全体平均	
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解		必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力		読解平均
東京都	77.6%	41.6%	53.9%	58.8%	55.6%	49.6%	49.3%	35.4%	45.4%	53.0%
本校	82.6%	45.2%	59.1%	65.1%	60.8%	53.2%	54.4%	50.0%	52.6%	58.7%
都との差	5.0	3.6	5.2	6.3	5.2	3.6	5.1	14.6	7.2	5.7

理科	教科の観点				教科平均	読み解く力			全体平均	
	関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解		必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力		読解平均
東京都	86.7%	45.7%	61.4%	46.8%	53.4%	78.7%	49.8%	19.5%	49.4%	52.5%
本校	91.3%	50.6%	70.5%	47.5%	57.2%	81.2%	56.4%	16.8%	51.5%	55.9%
都との差	4.6	4.9	9.1	0.7	3.8	2.5	6.6	-2.7	2.1	3.4

英語	教科の観点				教科平均	読み解く力			全体平均	
	関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解		必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力		読解平均
東京都	82.6%	31.7%	69.5%	59.3%	60.2%	45.2%	52.9%	37.4%	45.2%	56.7%
本校	89.3%	47.0%	73.5%	65.8%	67.4%	48.0%	50.0%	36.9%	45.0%	62.3%
都との差	6.7	15.3	4.0	6.5	7.2	2.8	-2.9	-0.5	-0.2	5.6



《都との比較にみる本校の状況》

全教科において都の平均正答率を上回っている。特に、英語の「外国語表現の能力」と数学の「意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力」は、それぞれ15.3ポイント、14.6ポイントと大きく上回っていることがわかる。理科の「観察・実験の技能」は9.1ポイント、国語の「書く能力」は8.4ポイント、社会の「必要な情報を正確に取り出す力」は7.2ポイント、数学の「数量や図形などについての知識・理解」は6.3ポイントと、いずれも都の平均正答率を上回る結果となっている。一方、英語の「比較・関連付けて読み取る力」に関しては、2.9ポイント、理科の「意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力」は2.7ポイント、都の平均正答率を下回る結果となり、今後の課題となっている。

《授業改善のポイント》

本校では「学習環境の整備」「家庭や地域との連携」「健康な心と体」「わかる授業」「問題解決力の育成」の5点を、「生徒の学習意欲の向上」につなげて「学力向上」を図るという「確かな学力向上プラン」を策定している。また、「研究授業」を定期的実施し、日常的に教員同士が授業を見合うなど、学び合いを大切にしている。各教科では、「指導と評価の工夫と改善」に取り組んでいる。今後は、各教科の課題を明確にし、生徒の意欲を引き出す授業づくりに努めていく。

《家庭・地域への働きかけ》

各教科において、定期的な小テスト、コンテスト、プレゼンテーションなどを行うことにより、家庭学習の定着を図っている。